

平成30年度事業報告書

「花と緑の元気とやま推進プラン」に基づき「花と緑と人が輝く元気とやまの創造」を目標に、県民総参加による花と緑の県づくりを「花と緑をはぐくむ」「花と緑にふれあう」「花と緑をすすめる」の3つの柱のもとに推進した。

また、県の指定管理施設である富山県中央植物園及び県民公園頼成の森の適切な運営管理に努めた。

I 銀行事業（公益目的事業1）

1 花と緑をはぐくむ事業 48,983,000 円

(1) 花と緑の地域づくり事業 25,395,000 円

ア 花の種苗配布事業

緑化グループや身近な施設等へ夏花壇用草花苗や秋植え球根を配布し、地域の特色を生かした花づくりを推進した。

・夏花壇用プラグ苗	マリーゴールドなど 26 種	333,336 株
・夏花壇用ポット苗	サルビアなど 49 種	190,166 株
・秋 植 球 根	チューリップなど 5 種	158,412 球

イ 緑化木配布事業

住民の憩いの場になっている花壇等において、緑のボリュームアップのための緑化や、緑化行事において緑化木を配布し、地域の特色を生かした緑づくりを推進した。

・支店緑化運動苗木配布	10 市町	65 種	2,154 本
・寄贈を受けた苗木配布	高岡市、上市町等に配布		100 本

(2) 地域の緑づくり推進事業 440,000 円

公共施設等の敷地に樹木を植栽し、地域住民がふれあえる場を造成するとともに地域の緑化を推進した。

滑川運動公園堀江自然ふれあい公園 1カ所(1支店)

(3) 地域の花づくり推進事業 4,209,000 円

ア 花壇造成事業

枕木や石などを使った自然風花壇の新規造成及び改良を促進した。

富山市寺町花壇など 14カ所(9支店)

イ 土壌改良事業

再生資源の利用を図りながら、花壇やプランターの土づくりを推進した。

富山市下夕南部地区など 436 ヲ所(9 支店)

(4) 学校緑化促進事業 650,000 円

学校での緑化活動を通じ、緑化意識の高揚を図るとともに、良好な学習環境づくりを推進した。

- ・記念樹植栽 1 校
- ・チューリップの学級づくり 815 学級

(5) 支店活動事業 14,675,000 円

花と緑に関する各種コンクールの実施や地方銀行の活動促進のための各種研修の開催など、支店主体の事業展開及び地方銀行からの要望に添った緑化活動を推進した。

15 支店

(6) 花だより花壇維持管理事業 2,469,000 円

県内 1 箇所の花だより花壇の維持管理を実施した。

富山空港ロータリー (19.3 m²)

(7) おもてなしフラワー事業 1,145,000 円

北陸新幹線の開業等に伴い、観光地等を花で飾り、訪れた方により良い印象を持っていただくために、地域住民の意識向上を図り、地域の活性化を図った。

- ・フラワーポット設置 (2 年目)
南砺市相倉合掌集落内 1 ヲ所 (1 支店)
- ・維持管理 (3 年目以降)
立山町五百石駅周辺など 12 ヲ所 (8 支店)

以上 (1) ~ (5)、(7) の事業については、支店への交付金事業として実施した。

2 花と緑にふれあう事業

10,306,500円

普及啓発事業

10,306,500円

ア 花と緑の各種コンクールの実施

花と緑を活かした美しい地域づくりを推進するために、花と緑の各種コンクールを実施した。

(ア) 富山県花のまちづくりコンクール

・学校花壇の部

最優秀賞 高岡市 成美小学校など 応募 33校

・幼稚園・保育所花壇の部

最優秀賞 富山市 西田地方保育所など 応募 30施設

・一般花壇の部

最優秀賞 砺波市 南般若花と緑の推進協議会など 応募 190団体

・花の道の部

最優秀賞 南砺市 桐木花と緑の推進協議会など 応募 37団体

(イ) 花と緑のポスター原画、標語コンクール

・ポスター原画の部 山田帆乃果さん(南砺市)など 応募 2,704点

・標語の部 松下真優里さん(朝日町)など 応募 534点

<花と緑のコンクール参加状況>

コンクール部門	H26	H27	H28	H29	H30	開始年度
学校花壇	40	39	37	34	33	S49～
幼稚園・保育所花壇	44	39	30	28	30	H5～
一般花壇	215	231	229	148	190	S59～
花の道	53	52	44	52	37	H11～
花と緑のポスター原画	3,690	3,587	3,408	3,213	2,704	S48～
花と緑の標語	930	1,309	1,862	1,033	534	S50～

イ 「平成 30 年度花とみどり・ふれあいフェア」の開催

県民生活に、花と緑を活用した彩り豊かで潤いと安らぎのある生活スタイルを提案するとともに、県民の緑化意識の高揚を図るイベントを開催した。

平成 31 年 3 月 2 日（土）～ 3 月 3 日（日）

フューチャーシティ ファボーレ 参加者数 約 24,080 人

主な内容

(ア) コンテナガーデンコンテスト作品展示

年末、正月から春先まで庭先・玄関を花と緑で飾る方法の一つとして提案

- ① 私の寄せ植え（小型・プランター部門）：県下頭取・グリーンキーパー及び一般県民からの応募作品・・・27 点
- ② 大型部門：花と緑の銀行各支店・地方銀行の作品・・・11 点

(イ) 花と緑等に関する展示

- ・とやまの花品評会 54 点
- ・チューリップ 31 品種、椿の名品 14 点、スイセン 160 点
- 花飾りツーショットスポット など

(ウ) 花と緑の活用に関する体験教室の実施

- ① 体験教室 「寄せ植え」、「花束づくり」、「生け花」
- ② 花と緑に親しむコーナー
「カラーサンドグリーン」、「木工クラフト」、「ハーバリウム」
「県産材遊具広場」、「花束づくり親子体験」

(エ) 花と緑の銀行の事業関連

- ① 表彰式 ……コンテナガーデンコンテスト（3 月 2 日）
- ② パネル展示…平成 30 年度花と緑のコンクール入賞作品展
（ポスター、標語、花壇写真）
- ③ 花の種貸し出し
花の種・球（約 59 種類、5,076 袋・球） 貸出者 190 人

(オ) イベントの実施

- ① お楽しみ抽選会、スタンプラリー抽選会 3 月 2, 3 日
- ② 県、市町村イベント案内コーナー
となみチューリップフェア 2019、にゅうぜんフラワーロード 2019
第 25 回全国花のまちづくり南砺大会
- ③ イメージキャラクター出演
はなぴー（花と緑の銀行）

ウ 「第46回花と緑の大会」の開催

花と緑の功労者及びコンクール入賞者の表彰、花と緑の講演会を開催した。

平成30年10月25日(木) 富山県民会館

「同時開催」 富山県花と緑のコンクール入賞作品及び花壇写真展示

(ア) 花と緑の功労者表彰 県知事表彰 個人 5名 団体 1団体
理事長表彰 個人 22名 団体 4団体

(イ) 花と緑のコンクール入賞者表彰

学校花壇の部	12校	(最優秀1, 優秀5, 優良3, 奨励2, 努力1)
幼稚園・保育所花壇の部	10施設	(最優秀1, 優秀3, 優良3, 奨励3)
一般花壇の部	21団体	(最優秀1, 優秀7, 優良7, 奨励3, 努力2, 若葉1)
花の道の部	13団体	(最優秀1, 特別1, 優秀4, 優良4, 奨励2, 努力1)
ポスター原画の部	45名	(最優秀1, 優秀3, 優良6, 佳作35)
標語の部	16名	(最優秀1, 優秀3, 優良6, 佳作6)

(ウ) 花と緑の講演会

「地域社会における花と緑の役割

～誰でも楽しくたねダンゴ 花と緑いっぱいのもちづくり～

講師 (株)サカタのタネ ガーデンセンター園芸相談員

小杉波留夫 氏

エ 2018 ドングリ集め in 植物園

県民主役の花と緑の県づくりの一層の推進を図るため、子供にも親しみやすいドングリを媒体とし「自ら木の実を拾い、植え、育てる」イベントを実施した。

平成30年10月8日(月祝) 富山県中央植物園 参加者72名

オ コンテナガーデンコンテストの開催

地域緑化の指導者として活動している頭取・グリーンキーパーの日頃の活動の成果を発表する機会としてコンテストを開催した。

平成31年2月22日(金)～3月3日(日)

フューチャーシティ ファボーレ 出展数11作品

入賞6作品 (コンテナガーデン大賞1, 優秀賞2, 佳作3)

カ 花のまちづくり新拠点創出支援事業の実施

地域緑化活動面の広がり支援するため、新たな緑化活動のきっかけとなる花壇教室や緑化相談を行い、地方銀行を核とした花のまちづくりが創出されるよう支援した。

平成30年度花のまちづくり新拠点創出支援事業の実施状況

No	支店名	地方銀行名	日時	場所	内容
1	富山	五福	① 2018/5/18(金) 16:00～17:00 ② 2018/5/29(火) 15:30～16:30	西部中学校(富山市五福130)	① 講師の指導により、生徒が学校花壇の土壌改良を行った。 ② 講師の指導により、生徒が学校花壇に花壇に植栽した。
2	富山	光陽	2018/5/29(火) 13:00～14:00	光陽小学校(富山市二口町1丁目4-1)	講師の指導により、1年生から6年生までの全校児童が、学校花壇に花苗を植栽した。
3	富山	熊野	2018/6/5(火) 16:00～17:00	熊野中学校(富山市下熊野728)	講師の指導により、生徒と地域住民と一緒に学校花壇に花苗を植栽した。
4	富山	新庄北	2018/6/8(金) 9:30～11:30	新庄さくら保育園(富山市新庄銀座二丁目7-23)	講師の指導により、保育園の花壇に親子で花苗を植栽した。
5	氷見	朝日丘2区	2018/11/6(火) 14:00～16:00	氷見市民舞伝習館(氷見市十二町399-1)	屋内において花壇づくりの体験として、講師の指導により、地域住民がプランターに寄せ植えを行った。
6	氷見	東1区	2018/11/8(木) 10:00～12:00	氷見市今町公民館(氷見市中央町7-3)	講師の指導により、地域住民が地域内の花壇に花苗を植栽した。
7	入善	入善上野	2018/11/19(月) 9:30～12:00	入善幼稚園(入善町11770-4)	「花のある豊かな生活」のお話と入善幼稚園の花壇づくりについての体験発表の後、講師の指導により、親子でプランターに花苗を植栽し、それらを園内に設置した。

キ 普及広報活動

- (ア) 広報誌「花と緑の銀行だより」の発行 年間4回 1回 3,800部
- (イ) 普及啓発用ポスター・カレンダーの配布(地方銀行、小中学校等へ配布) 2,700枚
- (ウ) 花と緑に関する情報提供

ホームページにより、さくら開花情報、花だより、花と緑のイベント、草花や緑化木の管理等及び各施設の情報を提供した。

平成31年3月25日にホームページを全面リニューアルし、魅力ある最新の画像と多様な情報の提供を開始した。

(公財)花と緑の銀行(<http://www.bgtym.org/fgbank/>)

富山県中央植物園(<http://www.bgtym.org/>)

県民公園「頼成の森」(<http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>)

ク とやまの地域花壇の紹介

本県独自のスタイルである地域の花壇づくりを応援し、幅広く紹介するため、花壇マップを配布した。

ケ 「富山のさくら」名所づくり事業

本県のさくらの名所を県民のみならず県外から訪れる観光客などに広く紹介し、地域振興、観光資源としての活用を推進するため、県からの委託事業として実施した。

- (ア) 平成31年2月11日から16日にかけて、イギリスを訪問し、17種類(野生種:5種類、栽培品種:12種類)のサクラの接ぎ木用穂木(それぞれ5本で、合計85本)を持ち帰った。植物検疫官の目視による検査の結果、合格した16種類は接ぎ木を実施するため日本花の会結城農場(茨城県結城市)に、条件付き合格の1種類は隔離栽培のため横浜植物防疫所に、それぞれ持ち込んだ。
- (イ) 本県由来のサクラの品種(バイオ苗)と植物園で保存されているサクラの品種(シキザクラ、コヒガン、トウカイザクラ、シナミザクラ、ヤマザクラ、ギョイコウ)をイギリスへ輸出するための準備を始めた。
- (ウ) 平成30年4月5日から15日にかけて、富山さくらの名所10箇所(富山県中央植物園、前沢ガーデン桜花園、城端別院善徳寺、月訪の桜、百年桜、常願寺川公園、高岡古城公園、向野のエドヒガン、呉羽丘陵(北代)、大門川沿い)に案内人を延べ63名配置した。
- (エ) 本県由来のサクラの大半は植栽地域が県内の一定地域に限定されているので、植栽地域を少しでも広めるために、平成30年6月30日に富山県中央植物園内の談話室において、挿し木による増殖技術の研修を、平成30年9月2日に富山県中央植物園内のドリラスホールにおいて、芽接ぎによる増殖技術の研修を、それぞれ実施した。参加者数は、前者が35名、後者が12名であった。

3 花と緑をすすめる事業

6,418,000 円

花と緑の指導者育成事業

6,418,000 円

ア 新任頭取・グリーンキーパー研修

新任頭取・グリーンキーパーの役割の理解醸成と花と緑に関する知識・技術の向上のための研修を実施した。5月～11月 年間5講座

受講者：頭取・グリーンキーパー 91名（修了証交付者数）

研修講座	月 日	研 修 内 容
第1回	5月24日	・花と緑の地域づくりについて ・花と緑の銀行の活動と頭取・グリーンキーパーの役割
第2回	5月24日	・花壇づくりの基礎知識 講師：水牧貴子氏
第3回	8月24日	・みんなですすめる花のまちづくり 講師：日本花の会 和田博幸氏
第4回	11月27日	・花の病害虫の見分け方と防除 講師：名畑清信氏
第5回	11月27日	・花と緑のまちづくり活動 講師：北蟹谷地方銀行頭取 川原俊昭氏

イ 現任頭取・グリーンキーパー研修

再任された現任の頭取、グリーンキーパーを対象に、花と緑に関するより豊富な知識を得るための研修を行い、地域のリーダーとしての自覚と意識高揚を図った。多くの研修参加となるよう、県東部、県中央部、県西部の3会場で実施した。

【県東部】平成30年6月20日（水）新川文化ホール（小ホール）受講者 114名
内容：エコロジカルガーデニング ～自然をお手本にした花の庭づくり～
講師：職藝学院教授 渡邊美保子氏

【県中央部】平成30年7月3日（火）富山市民プラザ 受講者 106名
内容：花と緑のふるさとライフ ～感動は作り出すもの～
講師：（公財）日本花の会 花のまちづくりアドバイザー 清水恵子氏

【県西部】平成30年6月26日（火）クロスランドおやべ 受講者 233名
内容：地域を潤す魅力ある植栽を目指して ～魅力ある花壇づくり～
講師：（有）ホリーホックガーデン 代表 奥 峰子氏

ウ 頭取・グリーンキーパーステップアップ研修

現在活動している頭取・グリーンキーパーを対象に、花と緑についての専門知識を深める実践的な研修を実施し、地域のリーダーとして総合的な地域緑化を担う人材となるよう努めた。

4月～11月 年間20回

修了者 31名

ステップアップ研修実施内容

回	月日	区分	研修内容
1,2	4月18日	午前 午後	開講式、花のまちづくり1（ボランティア活動） 花壇づくりの基礎知識1（花壇デザイン）
3,4	4月25日	午前 午後	花壇づくりの基礎知識2（花壇デザイン） 花壇実習1（土づくり）
5,6	5月16日	午前 午後	植物管理の基礎知識1（栽培してはいけない植物） 花壇実習2（植栽）
7,8	5月30日	午前 午後	植物管理の基礎知識2（有毒植物） 花壇実習3（植栽後2週間の管理）
9	6月13日	午前	花壇実習4（梅雨対策）
10	6月27日	午前	花壇実習5（メンテナンス作業）
11	7月11日	午前	花壇実習6（メンテナンス作業）
12	7月25日	午前	花壇実習7（メンテナンス作業）
13	8月7日	午前	花壇実習8（メンテナンス作業）
14	8月22日	午前	花壇実習9（メンテナンス作業）
15	9月5日	午前	花壇実習10（メンテナンス作業）
16	9月26日	午前	花壇実習11（メンテナンス作業）
17	10月5日	全日	花のまちづくり2（現地視察 長野県大町市）
18	10月18日	午前	花壇実習12（メンテナンス作業）
19	11月7日	午前	花壇実習13（撤去作業、宿根草の株分け）
20	11月21日	午前	花のまちづくり3（講義） 閉講式

エ フラワーグリーンバス教室の実施

地域活動の向上に資するため、県外の優れた緑化活動の実践現場を視察研修した。

日時：平成30年10月13日（土） 長野県飯山市

場所：いいやま花フェスタ

参加者：90人

<参考>

平成30年4月1日現在の人数 頭取：308名、グリーンキーパー：1,869名 合計2,177名

Ⅱ 富山県中央植物園の管理運営業務(公益目的事業2)

324, 435, 829 円

花と緑の運動推進のシンボル施設として県民の方々に支持され、利用者に満足の得られる施設となるよう適正な管理に努めた。また、植物及び植物との関わりを学ぶ場、憩い安らぐ場を提供するとともに、富山県植物公園連絡協議会のセンター的機能を果たした。

平成30年度の新たな取り組み

(1) SNSによる情報発信

SNSで中央植物園の開花情報やイベント等をPRするため、昨年4月から中央植物園の公式インスタグラムページを開設した。

(2) 英国オックスフォード大学植物園・樹木園との友好提携に関する覚書の調印

植物園では、平成24年から英国オックスフォード大学植物園・樹木園と種子収集を行うなどの交流を進めてきており、生物多様性の保全やサクラ類のコレクションの交換、研究員の相互交流などの取り組みを強化するため、6月7日に両園長間で覚書に調印した。また、2月に英国からの里帰りザクラを輸入し、国内検疫と接木・挿木による1年以上の隔離栽培等を経て、中央植物園内に造成中の英国コーナー（仮称）に植栽する予定である。

(3) 森のクラフトへの大人の参加

夏休みに子供向けの工作として開催してきた森のクラフトでは、以前より大人単独でも参加したいとの要望があったため、大人は有料で参加できるように門戸を広げた。

(4) 初開花など

長年の栽培研究の結果、パラゴムノキが栽培24年目で、また、オオバイチジクが21年目でそれぞれ初開花したほか、絶滅危惧種のみずオオバコについては、人工照明等に7年間の試行錯誤を経て、長期間の展示栽培に成功し、多くの方が観賞した。

(5) 中央植物園開園25周年記念特別展「リンゴ展—リンゴ図鑑111」の開催

特別展は、10/5～11/18の45日間、「リンゴ展—リンゴ図鑑111」を開催し、リンゴの品種111種類を実物やパネルで紹介するとともに、リンゴの分類や利用について展示を行った。また、会期中に県内リンゴ生産者のリンゴやリンゴを使ったお菓子等を販売する富山Apple Day(10/21)、TOYAMA植物フォーラム、リンゴの試食会(2回)、リンゴのフルーツカービングなど多彩な関連イベントを開催した。

(6) 入園者200万人の達成

中央植物園の入園者が開園以来25年で200万人に達し、150万人からは5年での達成となった。

(7) 中央植物園ホームページのリニューアル

ホームページの記事更新をどのパソコンからでも簡単にできて、スマートフォン表示にも対応できるようホームページソフトを変更し、2月下旬に公開した。

(8) ドローン動画による中央植物園のPRについて

桜（ソメイヨシノ）のトンネルが満開の「春」、オオオニバスが広範囲に広がり開花した「夏」、ヌマスギが紅葉した「秋」の計3本のドローン動画を、2月下旬から上記ホームページで公開した。

1 施設の維持管理

2 植物の管理（屋外展示園、展示温室、栽培温室等）

収集展示植物 約 4,900 種

- 日本の植物ゾーン

サクラ、ウメ、コナラ、ブナ、カタクリ、エッチュウミセバヤ、ユキツバキ等

- 世界の植物ゾーン（展示温室を含む）

ボタン、シャクヤク、シナユリノキ、キョチク、バオバブ、トウツバキ等

- 花のプロムナード

ソメイヨシノ、サトザクラ、フジ等

3 入園料等の徴収業務

来園者数は3年連続で10万人を超えた。

来園者（平成30年4月～31年3月） 103,953名

内 訳

(ア)入園者数 102,851名

- ・ 有料入園者数 26,962名

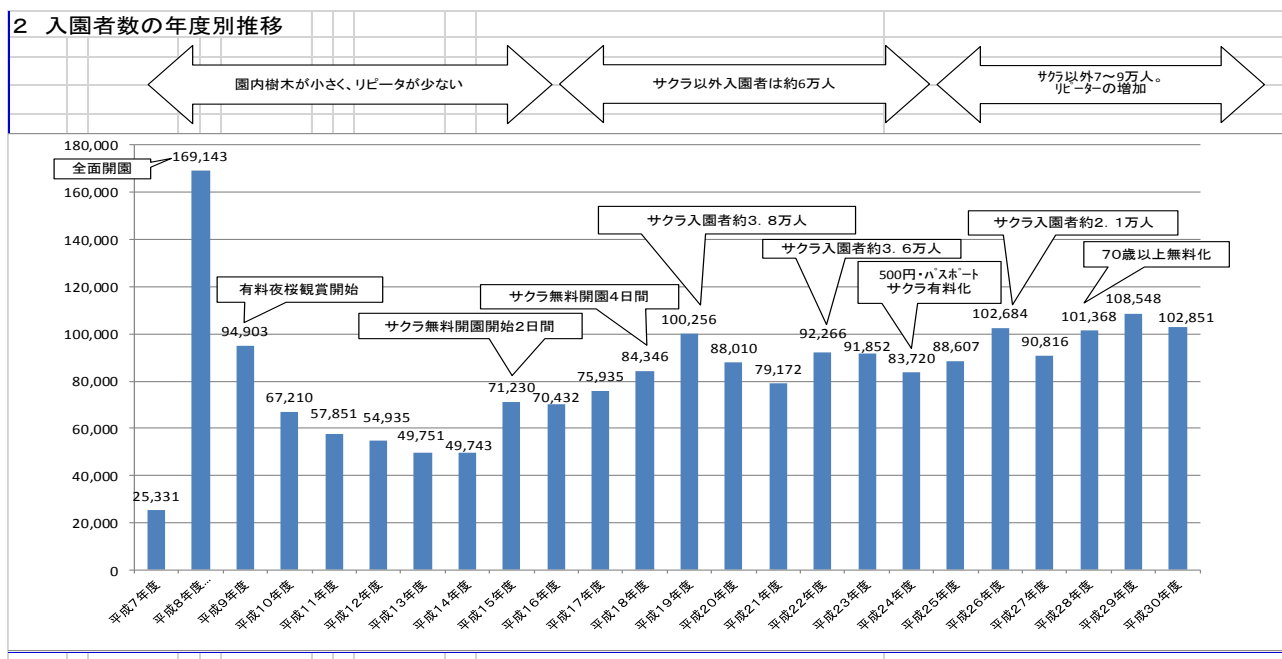
- ・ 年間パスポート、友の会 15,003名

- ・ 無料入園者数（減免、視察など） 60,886名

うち70歳以上 31,081名

(イ)施設利用者数

研修室、実習室等有料利用者 1,102名



4 植物園活動業務

- (1) 植物の収集・自生地採取 購入により入手が困難な植物採取
種子交換用植物等の種子採取

(2) 教育・普及

- ア サンライトホール企画展・特別展 (注：数字は期間中の入園者数)
- ・植物園のサクラとさくらまつり (3/16～4/25) 24,701 名
さくらまつりのポスターに使用した写真家藤森暁氏のオリジナル写真を展示
 - ・第37回ツツジ・シャクナゲ展 (4/28～4/30) 2,125 名
日本ツツジ・シャクナゲ協会富山県支部との共催でツツジ・シャクナゲ 268 株を展示
 - ・第39回春のラン展 (5/4～5/6) 3,294 名
富山県蘭協会と共催で春に咲くエビネや洋ランなどを展示。「エビネ形態と生態」を特別展示
 - ・私の植物画展 (5/11～5/30) 5,514 名
公募により一般から募集した植物画 (ボタニカルアート) 127 点を展示
 - ・さつき展 (6/1～6/3、6/4～6/6) 1,913 名
前半は富山臯月会、後半は寿さつき会のサツキ盆栽を展示
 - ・第36回ウチョウラン展 (6/16, 17) 835 名
富山ウチョウラン保存会と共催で、ウチョウランを展示
 - ・第3回夏のラン展 (7/7, 8) 547 名
富山県蘭協会と共催で夏に咲くフウランやウチョウランなどを展示
 - ・私の植物写真展 (7/27～8/22) 6,745 名
植物園内で撮影した写真を一般から募集し、60 点を展示
 - ・夏休み子ども企画森のクラフト (7/24～8/29) 2,457 名
どんぐりやまつぼっくりなどを使って工作できるコーナーを設置。今年より大人だけでも有料で参加できるようにした。(数字は実際の体験者数)
 - ・苔写真展 (8/24～9/5) 1,516 名
日本蘚苔類学会富山大会開催にちなみ、学会員が撮影したコケ植物の写真 30 点を展示
 - ・友の会植物画部会「ボタニカル・アート展」(9/7～9/26) 6,441 名
友の会植物画部会会員の作品 76 点と二口善雄氏の作品 10 点を展示
 - ・第2回サボテン・多肉植物展 (9/28～9/30) 1,042 名
富山サボテン会と共催で、サボテンと多肉植物約 400 鉢を展示
 - ・特別展「リンゴ展—リンゴ図鑑 111」(10/5～11/18) 12,899 名
開園 25 周年を記念してリンゴ 111 品種をパネルや実物で紹介し、リンゴの分類、利用などについて多面的に紹介
 - ・第12回秋のラン展 (11/23～11/25) 1,442 名
富山県蘭協会との共催でカンランや秋に咲く洋ランなどを展示。「洋蘭の女王カトレアの魅力 PART II」として、ボタニカルマガジンやライケンバックキアを展示

- ・ **クリスマスの植物の展示** (12/10～12/24) 1,638名
 アップル・クリスマスをテーマに、入善町産ポインセチア、砺波市産のシクラメンを用いて、リンゴと一緒にクリスマスの装飾を行った
- ・ **花と緑のコンクール入賞作品展** (12/14～12/26) 1,679名
 花と緑のコンクールで入賞したポスター原画、標語、花壇コンクールの作品を展示
- ・ **第6回新春カトレヤ展** (1/11～1/14) 2,380名
 県内の愛好家団体「COT(クラブオーキッドトヤマ)」の協力を得て、カトレヤの原種を中心に約100点を展示
- ・ **平成30年度研究発表展** (1/18～2/20) 4,428名
 職員の研究成果をポスター形式で展示
- ・ **第6回クリスマスローズ展** (2/22～2/24) 3,333名
 富山県クリスマスローズ生産者組合及び富山クリスマスローズの会との共催で、クリスマスローズ120点を展示
- ・ **第47回蘭まつり大会** (3/1～3/3) 6,238名
 富山県蘭協会と共催で、洋ランや東洋ランを展示。特別展「皇室にちなんだ蘭」も開催
- ・ **第15回雪割草富山県大会** (3/8～3/10) 3,728名
 富山雪割草の会との共催で、会員が栽培した多様な雪割草を展示
- ・ **私の植物写真「中央植物園に咲くサクラ」** (3/15～3/31) 5,580名
 一般から募集した植物園内で撮影したサクラの写真を展示

イ 特別開園・特別行事

(注：数字は入園者数)

- ・ **第7回さくらまつり** (4/5～4/8) 4,790名
 園内のソメイヨシノの開花時に合わせ、特別入園料200円、開園時間を午後9時半までとして実施した。期間中には、ドリラスコンサート、「今年の桜」の植物画展、桜のクイズラリー、とやまさくら守の会による桜の観察会、呈茶席など多彩な催しも開催したが、5日を除き、悪天候となり入園者数は過去最低となった。
- ・ **「県民ふるさとの日」記念無料開園** (5/6, 9) 1,924名
 5月9日の「県民ふるさとの日」を記念し2日間無料開園
- ・ **夜間開園「ゲッカビジン観賞」** (7/9, 10) 881名
 ゲッカビジンの開花に合わせて夜間開園
- ・ **早朝開園「ハスの花の観賞会」** (7/21, 22) 234名
 ハスの開花を観賞するため、午前6時より早朝開園
- ・ **夜の熱帯植物探検** (7/27, 28) 285名
 夜に咲くサガリバナや熱帯スイレンなどを観賞する夜間開園を行った。ラン温室のランをライトアップし、熱帯植物ガイドツアーを開催
- ・ **クリスマスフェア** (12/7～9) 1,465名
 クリスマスリースづくりやマツボックリのクリスマスツリーづくり、ジャムや西洋野菜などの販売、クリスマススープの無料配布やクリスマスコンサートを開催した。

ウ 講座、講習会

(注：数字は参加者数)

- ・栽培講習会①「シャクナゲの植え替えと管理」(4/28、29、30) 88名
日本ツツジ・シャクナゲ協会富山県支部の会員が植替えと接ぎ木について講習
- ・栽培講習会②「ランの植え替えと管理」(5/5、6) 68名
富山県蘭協会の会員によるエビネと洋ランの栽培についての講習
- ・講演会「富山の外来生物」(5/12) 110名
富山の外来生物に関する講演会を富山県生物学会と共催で行い、中田園長他7名が講演
- ・植物画講習会(5/19、20) 28名
豊田路子氏を講師に、初心者を対象に植物画の講習
- ・植物写真教室「やさしい花の撮り方」(6/3) 74名
富山県写真家協会による撮影マナーの講習と実技指導
- ・夏休み特別企画「オオオニバスに乗ってみよう」(8/17～19) 2,572名
児童たちが巨大なオオオニバスの葉に乗るイベントを実施
- ・富山 Apple Day(10/21) 822名
県内6つのリンゴ生産者によるリンゴやジュースなどの販売、リンゴを使ったスイーツの販売とリンゴの皮むきコンテストを開催した。
- ・第26回 TOYAMA 植物フォーラム「リンゴの種類とその利用」(11/11) 40名
3名の講師にリンゴの品種や歴史、県内での生産、リンゴの酒シードルについて話題提供をしていただいた
- ・リンゴの試食会(11/18) 110名
リンゴ展最終日に、様々な品種のリンゴの試食会を開催
- ・栽培講習会③「ランの植え替えと管理」(11/24、25) 39名
富山県蘭協会の会員によるカンランと洋ランの栽培についての講習
- ・植物園でバードウォッチング(12/9) 41名
日本野鳥の会富山と共催で、植物園で見られる野鳥の観察会を行った後、研修室で野鳥講座を開催
- ・散らない桜カード配布(1/12) 200名
入学試験受験者向けに、散らないサクラ・コシノフユザクラの押し花で作ったカードを希望者に配布
- ・カトレヤ栽培講習会(1/12、13) 14名
クラブオーキッドトヤマの会員が、カトレヤの栽培管理について講習
- ・平成30年度研究発表会(1/27) 30名
植物園の職員が行っている研究について研究成果を発表
- ・栽培講習会④「クリスマスローズの栽培と管理」(2/23、24) 240名
東京・花郷園の野口貴子さん、松浦園芸の松浦克郎さんによるクリスマスローズの栽培講習
- ・栽培講習会⑤「ランの植え替えと管理」(3/2、3) 93名
富山県蘭協会の会員によるランの栽培についての講習

- ・栽培講習会⑥「雪割草の栽培と管理」 (3/9、10) 43名
雪割草の栽培と管理についての講習

エ コンサート (注：数字は参加者数)

- ・さくらまつり
 - ドリアスコンサート 富山県庁箏曲部 (4/7) 70名
 - ドリアスコンサート 渋川流剣詩舞道菊帆会 (4/7) 30名
 - ドリアスコンサート TOYAMA ヴォーカル・ソレイユ (4/8) 60名
- ・緑のコンサート
 - シンセサイザー奏者 滝沢卓氏 (5/5, 6/2, 9/8, 10/6, 11/3) 162名
- ・クリスマスフェアコンサート
 - ① 鶴坂小学校5年生合奏、合唱 (12/7) 150名
 - ② ピノキオナーズリースクールハンドベル (12/7) 70名
 - ③ TLC キッズクラブ 30名
 - ④ 富山古楽協会 (12/7) 20名
 - ⑤ 富山少年少女合唱団 (12/8) 50名
 - ⑥ トリプレッツ plus (12/9) 50名

オ 月例行事

- ・植物ガイド—ボランティアと歩く植物園— (毎週日曜日) 35回 252名
毎週1回入園者にボランティア、職員が見頃の植物を案内
- ・植物ガイド—園長と歩く植物園— (毎月第3日曜日) 12回 171名
毎月第3日曜日の13:30から14:00に園長が見頃の植物を案内

カ 植物園クラブ

- ・食虫植物を育てよう (7/21、22) 102名
ハエトリグサの栽培について紹介し、食虫植物を使った夏休みの自由研究を提示
- ・顕微鏡・電子顕微鏡で植物を観察しよう (7/29、30) 37名
顕微鏡と電子顕微鏡で花粉や葉の表面などを観察
- ・ボトルアクアリウムを作ろう (8/5、6) 104名
ガラスビンに水草と小動物を入れてボトルアクアリウムを作成
- ・草木染めをしよう (8/12、13) 69名
カリヤスの葉で綿のハンカチを煮染めし、絹のハンカチをアイの生葉で染色
- ・植物園で秋を見つけよう (10/6、20) 88名
ドングリの種類について解説し、園内でドングリを拾い、その後工作した。
- ・かぼちゃのチョウチンづくり (10/27、28) 105名
ハロウィンにちなんでかぼちゃをくりぬいてチョウチンを作成
- ・クリスマス飾りを作ろう (12/1、2) 104名
フジづる、マツボックリなどの植物を使ったクリスマスリースを作成

- ・正月飾りを作ろう(12/22、23) 105名
マダケやモウソウチク、アカマツなどを使ってオリジナルミニ門松を作成

キ ボτανックガーデンクラブ

- ・多肉植物で楽しい寄せ植えづくり(9/29、30) 49名
職員を講師に、ベニヤ板を利用した多肉植物の寄せ植えづくりを実施
- ・リンゴでフルーツカービング(10/14) 13名
中島淳氏を講師に、リンゴのカービングづくりを体験
- ・ミニ門松づくり(12/23) 14名
大人を対象にミニ門松づくりを実施
- ・初めてのラテアート(2/11) 15名
高松雅志氏を講師にラテアートを講習

ク 学校教育支援

- ・学校等への教育支援活動
オリエンテーリング、どんぐり工作など 50団体 延べ 4,620名

ケ 団体対応

- ・来園した団体へ概要説明、ドリアス講座など 88団体 延べ 2,067名

コ 研修等

- ・博物館実習(9名)
内訳:富山大学(4名)、名城大学(1名)、群馬県立女子大学(1名)、
金沢大学(1名)、帝京科学大学(1名)、神奈川工科大学(1名)
- ・富山県インターンシップ 富山県立大学(1名)、新潟大学(3名)
- ・11年次教員研修(2名)
- ・社会に学ぶ14才の挑戦(10名)
内訳:速星中(3名)、西部中(3名)、芝園中(3名)、城山中(1名)
- ・富山市教育センター婦中適応指導教室指導(45回)
- ・高校生就業体験ー中央農業高校インターンシップ(3日間、1名)

(3) 情報提供

- ア ホームページによる情報提供 年間アクセス数 76,175件
スマートフォンにも対応できるように全面リニューアル
- イ 植物相談(平成30年4月~平成31年3月) 267件
 - ・県民からの植物同定や栽培相談 233件
 - ・マスコミからの問い合わせ 31件
 - ・植物関係者からの問い合わせ 3件

ウ 出版

- ・事業概要第 20 号 平成 29 年度版 平成 30 年 5 月 pdf ファイルを HP で公開
- ・植物園だより No. 88～No. 91
- ・研究報告 24 号 平成 30 年 12 月発行
- ・リーフレット 10,000 部増刷、中国語版リーフレットを 1,000 部増刷
- ・イベントチラシ
夏休み、秋冬イベントチラシを各 35,000 部印刷し、県内小学校、公共施設に配布
平成 31 年度分イベントチラシを 3 月に 15,000 部印刷し、入園者等に配布中

エ データベース

導入植物や文献・標本の登録

オ インフォメーション

園内サンライトホールのインフォメーションコーナーで見ごろの花や場所などの案内、ドリアスショップで植物苗や絵はがき等の販売

カ マスコミへの情報提供

- ・マスコミにイベント案内や開花情報を提供 54 件
- ・関連記事の新聞記事掲載 287 件

キ 新聞への寄稿

- ・北日本新聞ぶんぶんジュニア内「とやまいろいろ図鑑」を 3 週間に一度、72 回分連載
- ・読売新聞富山版に「植物はおもしろい」を月 1 回連載

ク ラジオによる情報提供

- ・KNB ラジオ隔週水曜日生 CM を 26 回放送、スポット CM45 本、生中継 2 回
- ・FM とやま毎週第 2 水曜日「植物園探検」を 12 回放送
- ・富山 City FM 月 1 回生中継 12 回、スポット CM120 本放送

ケ 広告の掲載

新聞、雑誌、インターネットによる広告出稿 18 回
親子お出かけサイト「いこーよ」チラシへ継続的に出稿

(4) 調査、研究

ア 調査研究

- (ア) 富山県の植物相と植生に関する調査
 - ・富山県で新たに確認された植物 (21)
 - ・富山県産ウミクサ類の生活を探る (3)

- ・富山市呉羽丘陵に生育するヤダケに類似したササ
- ・立山稜線部のフロラ
- ・立山の雪田植生の種組成について

(イ) 導入植物の同定の利用、栽培管理に関する研究

- ・アオキの発芽後の雌雄による開花特性
- ・パラグアイオニバスの発芽特性
- ・リュウキュウカンヒザクラのカルスからの再分化および発根に関する研究

(ウ) その他

- ・特定外来生物オオキンケイギクの見分け方

イ 外部資金の導入

環境省平成 30 年度生物多様性保全推進事業

ウ 資料収集

文献（804 点追加）、標本(4,048 点追加)などの収集

(5) 植物園交流

ア 植物公園連絡協議会との連携

- ・合同研修会（10/24、於：立山町グリーンパーク吉峰 情報交換後、陶芸体験）
- ・総会（3/8、於：富山県中央植物園 内容：H30 事業報告、H31 事業計画を審議。雪割草富山県大会を視察）
- ・スタンプラリー（5/1～11/30） 達成者 250 名（昨年 295 名）
5ヶ所以上達成者から抽選で 10 名の方に「各植物園の特色を生かした植物」を贈呈
- ・講演会の合同開催（5/12） 4 名参加
「富山の外来生物」
- ・講演会の合同開催（10/31～11/1）
客員研究員講義を拡大「リンゴ属の種内倍数性及び遺伝的多様性」他
講師：岡山理科大池谷祐幸氏
- ・植物苗、種の交換・譲渡
中央植物園から氷見市海浜植物園へクララ苗、頼成の森水生植物園へコバノギボウシなど 11 種を譲渡。氷見市海浜植物園より中央植物園へエゾヒナノウスツボ、シロサポテ種子を導入

イ 国内植物園交流（（公社）日本植物園協会との連携）

- ・日本植物園協会第 53 回大会・総会への参加（6/19～21、於：広島市植物公園）
- ・第 36 回国公立園運営会議の開催（2/28、3/1、於：県民会館、富山県中央植物園）
- ・中部拠点園会議及び第 2 回植物研究会（8/1、2、於：豊橋総合動植物園）
- ・海外事情調査（9/19～27、於：ドイツ）

- ・第2回教育普及ワークショップへの参加（1/28、29、於：東京都立神代植物公園）
- ・植物園協会理事（園長）
- ・植物多様性保全委員会外来種対策分科会座長（園長）
- ・国際交流推進委員会委員（園長）
- ・教育普及委員会委員（園長）
- ・ワシントン条約寄託植物の管理
- ・希少野生植物の生息域外保全検討実施委託業務による種子採集
- ・(公財)高知県牧野記念財団理事（園長）
- ・国内植物園等との植物苗の交換 分譲 15件 導入 4件
- ・国内植物園等との種子の交換 分譲 なし 導入 1件

ウ 海外植物園交流

- ・昆明植物研究所との共同研究
- ・イギリスオックスフォード大学植物園との友好提携調印式（6/7）
- ・イギリスオックスフォード大学植物園より桜苗木の導入
- ・文献交換 文献送付と文献受入

（6）事業の検証

利用者及び有識者による平成30年度事業評価委員会を独自に開催。「非常に良くやっております」との評価（2/21）

Ⅲ 県民公園頼成の森の管理運営業務（公益目的事業3）

54,779,763 円

花と緑の運動推進のシンボル施設として県民の方々に支持され、利用者に満足を得られる施設となるよう適正な管理に努めるとともに、総面積 115 ヘクタールに及ぶ広大な森林を生かした健康づくりの場、休養の場、体験学習の場を提供した。

1 施設の維持管理

2 県有林の管理（除間伐、枯損・折損木処理、下草刈り等）

3 植物の管理

- ・ 入口広場の芝生、植栽木の保護育成
- ・ ハナショウブなど水生植物園の保護育成 ハナショウブ 600 品種 70 万株

4 自然や森林生態の学習体験

(1) 森林科学館での各種展示

森林の自然生態や頼成の森の四季などをテーマに常設展示

- (2) 第 33 回頼成の森花しょうぶ祭り(6 月 8 日～17 日) 入場者数 54,341 名
ハナショウブ鑑賞、菖蒲入り足湯、オカリナ演奏、育て方講習会、
即売会等

(3) 月例行事の実施

- | | | | |
|---|-------------------|-----|-------|
| ・ キンキマメザクラの観察会 | 4 月 1 日 | 参加者 | 10 名 |
| ・ 緑に親しむ集い | 5 月 4 日 | 参加者 | 337 名 |
| クイズを解きながら、森の生き物、森林の効用を学ぶとともに、しいたけの植菌を体験 | | | |
| ・ 花しょうぶ染め教室 | 7 月 1 日 | 参加者 | 13 名 |
| 花しょうぶの花等を使ってしょうぶ染めを体験 | | | |
| ・ 野鳥と昆虫の観察会 | 7 月 22 日 | 参加者 | 23 名 |
| 頼成の森、水生植物園内での野鳥・昆虫観察会 | | | |
| ・ カブトムシウォッチング | 7 月 29 日、8 月 11 日 | 参加者 | 49 名 |
| ・ 木工手づくり教室 | 8 月 5 日 | 参加者 | 19 名 |
| 自然素材を生かした木工工作を体験 | | | |
| ・ 竹細工教室 | 8 月 26 日 | 参加者 | 9 名 |
| 竹を使った、写真立てや花瓶づくり | | | |
| ・ ドングリ工作教室 | 9 月 23 日 | 参加者 | 25 名 |
| ドングリと森の自然素材を使ってオブジェづくり | | | |

- ・キノコ狩りと観察会 10月14日 参加者 73名
 キノコの見分け方を学びながら、キノコ汁を楽しむ
- ・頼成の森ボランティアの集い 10月28日 参加者 11名
 遊歩道沿いに繁茂したソコ、ヒカキの剪定を行うボランティア活動を体験
- ・頼成の森・感謝の集い 11月18日 参加者 162名
 頼成の森の1年間を振り返る写真・作品展
 オカリナに合わせ童謡の合唱
- ・チェーンソーの整備講習会 12月9日 参加者 13名
 感謝の気持ちを込めて、オーバーホールの手法を学ぶ
- ・ミニ門松作り 12月23日 参加者 40名
 お正月用のミニ門松づくりを体験
- ・自作の竹スキーに乗ろう 1月20日 参加者 33名
 孟宗竹で竹スキーを自作し、芝生広場で試乗
- ・冬も楽しい森の中探検 2月3日 参加者 30名
 冬の頼成の森を散策し、動植物を観察

5 利用者数（平成30年4月～平成31年3月）

県民公園頼成の森	入場者	153,609人
森林科学館	入館者	10,979人
バーベキュー施設	利用者	1,058人(127卓)